

塊茎腐敗の発生に注意！

早生品種を中心に茎葉黄変期に入ってきました。茎葉が完全に枯凋するまでは、疫病や軟腐病による塊茎腐敗への対策が必要です。

下記の対策を実施し、塊茎腐敗の発生防止に努めて下さい。

<疫病による塊茎腐敗発生の条件と対策>

1 塊茎腐敗発生のメカニズム

- ①茎葉が疫病に侵されると、病斑に胞子が形成される。
- ②胞子は降雨によって、地上に落下する。
- ③地上に落下した胞子から、地温が18℃以下になると遊走子が出てくる。
- ④遊走子は土中を泳いで塊茎に達し、塊茎の目や皮目から感染する。

→茎葉枯凋が完成するまで、茎葉を疫病から守る事が重要になります。

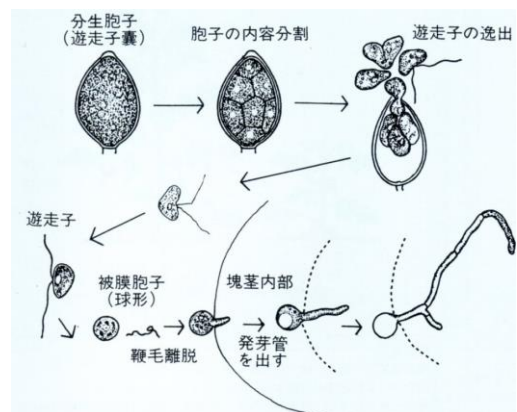


図 疫病菌胞子の発芽と塊茎侵入

2 塊茎腐敗の防止対策

茎葉が完全に枯凋するまで、疫病防除を継続的に実施しましょう。

<疫病による塊茎腐敗に対する効果が特に高い薬剤>

ランマンフロアブル、プロポーズ顆粒水和剤、
エキナイン顆粒水和剤、レーバスフロアブルなど

※YES!cleanや特別栽培では、使用できる薬剤が限られるので注意しましょう。

<軟腐病による塊茎腐敗発生の条件と対策>

1 塊茎腐敗発生のメカニズム

- ①茎葉が軟腐病に侵されると、地上部の病原菌密度が増加する。
- ②病原菌は降雨によって地下に流入して、塊茎の皮目や傷口から侵入し、塊茎を腐敗させる。
- ③高温多湿条件で腐敗しやすく、特に冠水部分で腐敗しやすくなる。

2 塊茎腐敗の防止対策

風雨により茎葉が傷んでいるほ場、茎葉枯凋時期が9月以降になるほ場は、引き続き軟腐病防除を実施しましょう。

防除にあたっては、抗生物質と銅剤が含まれているもの（カスミンボルドー、銅ストマイ水和剤など）を使用しましょう。

また、塊茎を風乾することにより貯蔵中の腐敗が大幅に減少するため、収穫後は塊茎を十分に風乾しましょう。

農薬使用に当たっては、必ずラベルを確認して正しく使用しましょう。